

ガンゼラブアース倶楽部

~2017年度 活動報告~



明日をもっと、こちよく

GUNZE



わたしたち『グンゼラブアース倶楽部』は、2006年4月、グンゼ株式会社の創立110周年を記念し設立されました。以来、社会貢献活動を行っている団体への支援などを通じてお互いが支え合い、より良い社会づくりを実現する仲間になりたいと活動を継続しています。

2017年度はグンゼの本業を活かした持続可能な支援(CSV)の考え方を取り入れ、自社製品による支援を充実いたしました。新たに大阪府と締結した「包括連携協定」に基づき、「共生の森植樹祭」への苗木の寄付や「ピンクリボン運動」を推進するJ.POSHへのメディキュア商品の支援も行いました。今後も『グンゼラブアース倶楽部』ではグンゼの本業の製品やサービスを活かした持続可能な支援を充実していきたいと考えております。

これからも皆さまからの温かいご支援をお願いします。

2018年 6月

代表幹事

赤瀬 康宏

CONTENTS

活動報告

activity report

2017年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先選定について

P2

支援先紹介

Support place introduction

認定NPO法人 J.POSH

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課

認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)

特定非営利活動法人 ロシナンテス

特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)

公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター

特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル 計10団体

P4

その他CSR活動

corporate social responsibility

SEMA / 大阪包括連携 / 文化・スポーツ振興プロジェクト

ピンクリボン活動 / 京都モデルフォレスト / 災害支援(九州北部豪雨災害)

福島復興支援 / 放課後子ども教室 / もったいない活動 / その他活動

P14

■支援先団体の選定について

2017年7月にA会員さまを対象に支援先に関するアンケートを実施。その結果を受けて8月7日に運営委員会を開催しました。

運営委員会ではアンケート結果をもとに、CSV (Creating Shared Value) の観点から、本業の製品やサービスで支援できる支援先を優先して選定。新規の2団体を含む11団体を支援先として決定、交渉の結果10団体への支援を実施しました。

実施期間	2017年7月14日～7月31日
対象者	ガンゼラブアース倶楽部A会員203名中ノーツメール所有者196名に配信
回答総数	59名
回答率	30.1%

■支援先団体について(計10団体)

2017年度は7団体へ10万円～20万円の寄付と、5団体へ10万円～20万円相当の肌着を寄贈しました。

支援先	回数	寄付金支援	物品支援
認定NPO法人 J.POSH	初	100,000	102,960
大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課	初		192,327
認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン	11回目	200,000	
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	9回目	200,000	
特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)	11回目	200,000	
特定非営利活動法人 ロシナンテス	11回目	100,000	104,458
特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)	9回目		205,192
公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)	7回目	200,000	
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	3回目	200,000	
特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル	3回目		207,168
合計		1200,000	812,105

2017年度より事務局が広報IR室へ移管されるとともに本業を活かした持続可能な支援 (CSV) という方向性が出されました。これを受け、単なる寄付ではなくガンゼの事業やサービスを有効に活用した支援先5団体を含む10団体への支援を行いました。会員の皆さま、誠にありがとうございます。今後も会員の皆さまの意見を頂きながらより良い支援活動ができるよう運営してまいります。

これからも皆さまからの変わらぬご支援をお願いいたします。

ガンゼラブアース倶楽部 事務局

支援先 活動報告

認定NPO法人 J.POSH

<http://www.j-posh.com/>



ピンクリボン運動とは、乳がんで亡くなられたアメリカの患者の家族が、「このような悲しい出来事が繰り返されないように」と願いを込めて作ったリボンからスタートした、乳がんの啓発運動です。J.POSHは「受けよう乳がん検査 早期発見で笑顔の暮らし」を合言葉に2002年NPO団体を設立し“For the future generation!!”をスローガンに明日を担う次の世代のために明日の健康な社会を残せるよう活動しています。

2017年度も、10月第三日曜日に乳がん検診ができる環境づくりを目指す「J.M.S(ジャパン・マンモグラフィ・サンデー)」プログラム活動や、乳がん患者または亡くなられた保護者を持つ高校生に返還不要の奨学金を支給する「J.POSH奨学金まなび」の募集、日本癌治療学会学術集会などに積極的にブース出展したほか、地道な活動として自己検診啓発ティッシュ配りキャンペーンなども行いました。HPには専用入浴着を着用して入浴できる日帰り温泉施設の紹介コーナーを作成。乳がんの手術をされた方にも温泉を楽しんでいただける環境づくりに取り組んでいます。

グンゼは2015年より、ピンクリボン運動を推進している認定NPO法人「J.POSH」のオフィシャルサポーターとしてその活動を応援しています。また、各地で開催されているピンクリボン運動にも協賛しており、2017年度はラブアース倶楽部からも支援しました。



「だから行こう 乳がん検診」10月1日なんばウォークで開催。(J.POSH監修)



品名	数量	備考
ティッシュ	1000	
パンフレット	500	
その他		



メッセージ

2017年度、グンゼラブアース倶楽部からはメディキュアの前開きハーフトップ60枚と現金10万円を寄付いたしました。J.POSHから発行されているピンクリボンNEWS(会報誌)でモニター募集を行い、抽選でプレゼントしました。

アンケートの結果、「擦れからの痛みが軽減されてとても良い」「値段が手ごろで良い」「肌触りが良い」とおおむね好評でした。商品モニターの後、ハーフトップを別途購入した方もいらっしゃいました。

乳がん用のブラジャーは情報も種類も少ないため、術後に病院から教えられたものが自身に合っていない方も仕方なく使用している人が多いのが現状です。今回、グンゼの商品を知っていただけてとても良かったと思います。



団体名：
認定NPO法人 J.POSH

住所：
大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号

創立：2002年2月

T E L: 06-6962-5071

活動概要

- ★乳がんで悲しむ方を一人でも少なくしたい、無くしたい
- 1.すべての女性に対する乳がんについての啓発活動
- 2.乳がん患者さんに対する支援活動
- 3.乳がん患者さんを持つ家族に対する支援活動



参加者全員で記念撮影を行いました。



2009年、大阪府は「将来ビジョン・大阪」で示す「みどりの風を感じる大都市 オンリー1」の実現に向けた具体的な戦略を立てるため、「みどりの大阪推進計画」を策定しました。市街地のみどりを増やし、潤いとやすらぎのある大阪の実現を図るため、地域の緑化組織（地域住民、PTA、民間企業、NPOなどで構成される当該地域の緑化活動を実施する組織）が協働で行う、樹木の植栽、幼稚園などの園庭の芝生化、花壇づくりなどの地域の緑化活動に対して、その活動経費の一部を助成しています。

2017年は街路樹を植栽する「大阪府マイツリー事業」活動や、「おいしい屋上緑化ビジネスを考える」セミナー、小・中学校での「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」および「校庭の芝生化計画」など、ヒートアイランド対策や都市の魅力向上といった課題解決に向けた活動に取り組みました。

3月3日に行われた「第15回共生の森植樹祭」にはグンゼグループから12名が参加し活動しました。この植樹祭へは大阪府との包括連携協定に基づいて協力しており、グンゼラブアース倶楽部の寄付金と会社のマッチング基金でグンゼグリーンから265本の苗木を購入し寄付を行っています。植樹祭の場所は堺市の第7-3区と呼ばれる広大な産業廃棄物の埋立地。500名以上の参加者が集まり3600㎡のスペースに1700本程の苗木を植えました。

来年度も開催する予定なので、自分たちが植えた苗がどう成長しているかも見届けたいと思います。



品名	数量	単価	金額
苗木	265	1,000	265,000
資材	100	500	50,000
その他	50	200	10,000
合計			325,000



グンゼグリーンの協力もあってグンゼチームは早々に完成。他の区画をお手伝いしました。



団体名:
大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課

住所:
大阪府大阪市住之江区南港北1丁目14-16

T E L: 代表番号/06-6941-0351 (内線/2745)

■主な業務内容

1. 自然環境の保全及び緑化施策の企画、調整および推進に関すること（他課分掌のものを除く）
2. 自然環境保全法の施行に関すること
3. 大阪府自然環境保全条例の施行に関すること
4. 都市緑地法の施行に関すること
5. 自然公園法の施行に関すること
6. 阪府立自然公園条例の施行に関すること



阪急うめだ本店 9階 祝祭広場「RED NOSE DAY With CliniClowns」の様子。

メッセージ

2017年度も、日本クリニクラウン協会をご支援いただきありがとうございました。

今、クリニクラウンには、26名が所属しています。2017年度は、47病院・301回、クリニクラウンを病院に派遣し、9,428人の子どもたちとクリニクラウンが会うことができました。クリニクラウンの活動をさまざまな形で応援くださった皆さまのお陰です。本当に、ありがとうございます。

クリニクラウンの活動は、病院の中での活動ということもあり、応援していただいている皆さまに、活動を実際に見ていただいたり、感じていただける機会がなかなかありません。入院中の子どもたちと日々向き合っている病棟スタッフの方々の協力のもと、活動することができています。今年度から始めたFacebookで、クリニクラウンの活動内容をこれからも報告していきますので、引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願いします。

2017年9月2日から始めた、Facebookは、ただ今、460フォロワー・430 いいね! です。こんなにたくさんの方々からクリニクラウンの活動に興味を持っていただけて、とてもうれしく思います。また、未だ日本クリニクラウン協会のFacebookを見ておられない方はぜひ、いいね! やシェアで応援をお願いします。



計15回のクリニクラウン研修会を行いました。



クリニクラウンが訪問した病院から届いたお手紙。(一例)

団体名:
認定特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会

住所:
大阪市北区末広町3-11 天しもビル3F

創立:2005年4月

T E L:06-4792-8716

■活動概要

★入院している子どもたちが、子ども本来の生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境をつくる活動を行う

- 1.闘病生活を送る子どもの権利を尊重し、クリニクラウン(臨床道化師)に関する事業を行うことにより、子どもの健全育成、保健、医療または福祉の発展に寄与する
- 2.クリニクラウン養成事業・派遣事業のほかクリニクラウンに関する啓発事業を行う



セーブ・ザ・チルドレンは、1919年にイギリスで誕生して以来約100年にわたり、すべての子どもの生きる、育つ、守られる、参加する「子どもの権利」が実現された社会を目指して活動しています。昨年は日本を含む世界120カ国で5000万人近い子どもたちに支援を届けました。グンゼからは、グンゼラブアース倶楽部のほかに、株主優待制度からも支援を行っています。

2017年度の活動の一部を抜粋して、ご報告します。

海外での活動

【緊急・人道支援】

シリアや南スーダン、イエメンなどにおける人道危機やロヒンギャの人々に対する緊急対応として、難民や国内避難民の子どもとその家族へ、緊急支援物資の提供や教育、子どもの保護、保健衛生などの分野で支援を実施しました。また、各地で「こどもひろば」を開設し、子どもたちが安心・安全に過ごせる空間を提供しました。



©Save the Children

【保健・栄養】

栄養不良や感染症の予防と治療、さらに、誰もが質の高い保健・医療サービスを受けられる社会を目指し活動しました。ベトナムでは、格差の拡大により厳しい生活を送る少数民族の母親と子どもの栄養改善を目指し、食料確保の支援や母子保健サービスの改善、保健啓発教材の開発などに取り組みました。



©Save the Children

日本での活動



©Save the Children

【子どもの貧困問題解決】

日本では現在、7人に1人の子どもが相対的な貧困下にあります。経済的に困難な状況に置かれた子どもたちを、給付金の提供などを通して支援するとともに、日本における子どもの貧困対策の充実に向け、社会啓発や行政への働きかけを行いました。

【子ども虐待の予防】

すべての子どもが暴力から守られ、恐怖や不安を感じることなく安心・安全に成長できるよう、子ども虐待の予防に取り組んでいます。たたかない、怒鳴らない子育ての普及のほか、講演会などの啓発活動や、体罰等全面禁止の法改正に向けた政策提言を実施しました。

【災害時における心理社会的支援】

災害などの緊急時にストレスを抱えた子どもに対するこころの応急手当てである「子どものための心理的応急処置」の研修を、子ども・子育て支援関係者や教員、一般市民などへ幅広く実施。この手法を普及する指導者の育成も行いました。

団体名：
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
住 所：東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F
創 立：1986年5月1日
T E L：03-6859-0070

■活動概要

★全ての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている世界を目指して活動する



<http://knk.or.jp/>



バングラデシュのドロップインセンターでの食事風景。



シリア難民キャンプでの音楽の授業。

メッセージ

国境なき子どもたちは、2017年で設立20年の節目を迎えました。支援を通じて得た機会を生かし努力した子どもたちは立派な大人に成長し、社会で活躍し、自分の家族を築くなど、それぞれの人生を大切に歩んでいます。しかし、今ここにも困難な状況にある子どもたちは存在し、私たちの助けを必要としています。シリア難民キャンプでは将来の見通しが見えない状況が続く中、KnKは音楽や演劇の授業を通じて子どもたちの基礎学力を向上につなげました。カンボジアでは親と一緒に生活できない子どもたちを保護しました。バングラデシュではストリートチルドレンたちに栄養豊富な食事を提供しました。日本からは2人の中学生が友情のレポーターとしてフィリピンを訪問し、彼らの取材がきっかけで青少年鑑別所で不当に収容されている6人の子どもたちを保護しました。一つひとつの活動は決して派手なものではありませんが、毎日継続することで子どもたちの成長につながっています。

KnKのこうした活動はグンゼラブアース倶楽部の皆さまに支えられています。皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。



ストリートチルドレンを取材する友情のレポーター。



フィリピンの青少年鑑別所。



団体名：
特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK)

住 所：
東京都新宿区下落合4-3-22

創 立：1997年9月

T E L: 03-6279-1126

■活動概要

- 1.教育や職業訓練、自己表現の機会を提供し、子どもたちの将来の選択肢をひろげ、その健全な社会参加を後押しする
- 2.貧困や紛争、災害で困難な状況にある子どもたちに寄り添い、その成長過程にふさわしい生活を送れるよう手助けする
- 3.日本の子どもたちが、世界の子どもたちの抱える現状を知り、多様な価値観を学び、互いに支え合える次世代を育成する



メッセージ

ロシナンテスは2006年に設立され、今年で13期目を迎えました。当初は医師である川原（ロシナンテス現理事長）の「スーダン人のためになることをしたい」という思いに基づき、無医村地域での巡回診療から始まりましたが、地域社会に入り、ニーズを考えながら活動するうちに、医療の提供だけでなくとどまらず、安全な水や教育の提供、そして地域に根付いた医療従事者（村落助産師）の育成など、さまざまな分野の活動も必要不可欠となりました。

ゲンゼラブアース倶楽部様には、本年もロシナンテスをご支援いただき誠にありがとうございます。一日の寒暖差が激しいスーダンの方々に暖かい肌着を贈ることができました。（※商品「モコモコ両面起毛・極厚/黒」はロシナンテスさんのご要望で決まりました）

昨年よりスーダン事務所では、20代・30代の若い力によって、現地での活動はより充実したものとなってきています。スーダン政府の取り決めにより、国際NGOの事業はスーダン国内の団体・機関との協力が不可欠ですが、巡回診療や診療所建設事業において我々のカウンターパートであるハルツーム州保健省から、多大なる貢献のあった国際NGOとして当団体が表彰されました。うまくいくことばかりではありませんが、現地機関との協力関係を維持・発展させ、今後もスーダンの地域住民のために事業を行ってまいります。「医」を届けるように挑戦し続け、それが当地域での平和の定着につながっていくことを願っています。



ゲンゼの肌着を手にする女性。



婦人にも紳士サイズが提供されました。

団体名：
特定非営利活動法人 ロシナンテス

住 所：
福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号
北九州市立商工貿易会館 7F

創 立：2006年5月1日

T E L: 093-521-6470

■活動概要

1. 貧困や紛争等の課題を有する世界の国や地域に対して、幅広く寄付金および協賛金を募る事業や、医療をはじめとして教育、農業などの活動を通じて国の基盤づくりを手伝う
2. 日本と関係する国々との国際交流の発展に寄与する
3. 大規模災害で被災した人々に対する支援活動を通じて、早期の復興を図る



インド・ビハール州ブッダガヤでの配布。



岩手県大槌町健康サポートセンターでの配布。



【インド・ビハール州ブッダガヤ】

インド東部に位置する最貧州、ビハール州ブッダガヤで地域医療を担うAMDAピースクリニックにかかっている妊産婦にグンゼラブアース倶楽部様からご提供いただいた肌着を配布しました。妊婦に妊娠月数と妊婦の体形に合ったサイズの肌着を2枚配布。更に、出産報告があった時点でもう2枚、2017年11月から2018年3月31日までで、115枚の肌着を延べ57名に配布しました。出産報告に来て、肌着を受け取った女性からは「妊娠中や出産後などの体形に合わせていただいた肌着を大切に今も使わせていただいています。私は妊娠中に肌着をつける習慣がありませんでしたが、提供いただいたことで妊娠中も肌着をつけることができました。出産後も、妊娠中にいただいたサイズの大きい肌着を調節して、今後も着用していこうと思っています。ありがとうございます」とお礼をいただきました。

【岩手県大槌町健康サポートセンター】

10月下旬に木工教室事業に参加されている方々や鍼灸治療に来られた患者さんに肌着をお渡ししました。受け取られた方々からは、「これから、寒くなるので助かる」「まだ忘れていないんだ」「ありがたい。グンゼの品物はいいんだよなぁ」と喜びの声をいただきました。

【気仙沼復興商店街/南町紫神社前商店街】

商店街のクリスマスイベント来場の併設復興公営住宅にお住まいの方々に商店街事務局さんより渡していただきました。配布に先立ち、商店街事務局では、サイズの希望をとり、その際に「AMDAを通してグンゼ様よりプレゼント」と明記して説明書配布しました。12/25当日はライブやプチマルシェなどのイベントの開催もあり、クリスマスプレゼントとしてお渡ししました。

受け取られた方々からは、「今年は、大変寒いので本当に助かります」「今まで着ていたものよりも暖かそうでうれしい」という声が寄せられました。グンゼラブアース倶楽部会員の皆さまにはご支援いただき、ありがとうございました。



団体名：特定非営利活動法人アムダ (AMDA)
 住 所：岡山県岡山市北区伊福町3丁目31-1
 創 立：1984年8月 【本部：岡山】
 T E L：086-252-7700

■活動概要

1. アジアを中心のほか中南米において、戦争・自然災害・貧困等により社会的・経済的に恵まれず、社会から取り残されている人々への医療救済と、生活状態改善のための支援活動を行う
2. 世界32の国と地域にある支部の医師・医学生ネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して支援活動を行う

支援先 活動報告

公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)

<http://www.civic-force.org/>



2016年4月の熊本地震の復興支援として、地元NPOなどと協働してきめ細やかな支援を目指すNPO/パートナー協働事業を継続して行ったほか、2017年7月に発生した九州北部豪雨では緊急チームを被災地に派遣し、避難所等への物資支援を実施。ホームページやSNSによる被災地の現状などの情報発信を頻繁に行いました。また、メルマガの発行、ニュースレター（年4回発行）の内容の充実を図ることで、特にこれまでの寄付者に対して支援活動の報告に尽力しました。

九州北部豪雨支援指定で2017年7月の災害発生時から約1ヵ月間でグンゼラブアース倶楽部様をはじめ多くの方々より355万円の寄付を受けたことに、大変感謝いたします。

東日本大震災の中長期復興支援として、2012年に開始した「夢を応援プロジェクト～被災3県の学生対象の奨学金と東北の復興を担う人材を育てるサポートプログラム」の2017年度の奨学生は191名で、5年間で累計1,000人以上に奨学金を支給しています。本年はサポートプログラムとして熊本の被災地への復興支援ツアーを企画しました。

アジア太平洋災害支援プラットフォーム連携・研究事業として、ASEAN防災人道支援調整センター（AHAセンター）より委託を受けて実施するASEAN参加国の行政官の日本研修プログラムは、2017年10月に実施する予定で受け入れ準備を行いました。

近い将来起きるかもしれない大規模災害で被災者の役に立つことは、私たちのような民間公益団体にとって大切な使命だと考えています。一刻も早く、一人でも多く救う——。そのためにシビックフォースはこれからも全力を尽くします。

2017.07.07 ヘリ調査

豪雨の被害にあった被災地では、7日午後も雨が断続的に降り続いていました。腰の高さほどまで増水した川が行く手を阻み、救助活動が難しい中、ヘリを使って被災地上空から救助手段の模索を行いました。



2017年7月、九州北部で大規模な豪雨被害が発生し、Civic Forceは発災直後から福岡県朝倉市などで行方不明者の捜索や緊急支援物資の配布などを行いました。いち早く送っていただいたグンゼ様の肌着は、出勤開始の翌日から被災者の方々に届けることができました。ヘリで救助された85歳の女性は、「避難所では洗濯ができなかったからうれしい」と笑顔を見せてくれました。

グンゼ様とは、東日本大震災後に災害時連携協定を締結し、2016年の熊本地震の際にも下着を無償提供いただきました。災害の多い日本では、いつまた大きな災害が起きるかわかりません。これからも皆さまとともにある緊急支援の活動を続けていきます。

団体名：
公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)

住所：
東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階

創立：2009年1月29日

T E L: 03-5790-9366

■団体概要

1. 大規模災害時支援のためのNPO/NGO・企業・政府・行政が連携するプラットフォームの構築
2. 緊急災害時にパートナーと共同して支援事業を実施する
3. アジア太平洋地域との連携し、「アジアパシフィック アライアンス」の活動に参加する

支援先 活動報告

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター

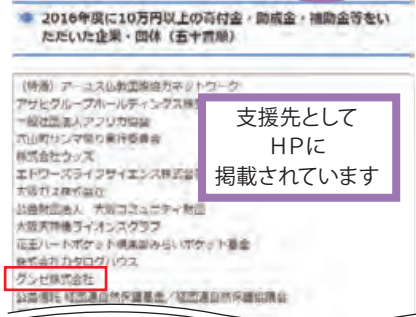
<http://www.ngo-jvc.net/>



日本国際ボランティアセンター（JVC）は、1980年にインドシナ難民の救援を機に発足し、現在、アジア、アフリカ、中東、そして日本の震災被災地で活動している国際協力NGOです。

急激な変化にさらされている農村で環境保全型の農業を通して暮らしの改善に協力するほか、紛争の影響を受けて人々が暮らす地では医療をはじめとした人道支援を行っています。またシンポジウムなどのイベントや、書籍・提言書の発行などを通じ、現場の声を政府や社会に届ける政策提言・アドボカシーの活動にも力を入れています。

足りないものをあげるのではなく、つくる方法を一緒に考える。紛争で傷ついた人を助けるだけでなく、紛争を起こさない道をつくる。「問題の根本にこだわる」。この思いがJVCの活動を貫いています。



メッセージ

昨年に引き続きご支援いただきありがとうございました。

陸海空すべてがイスラエルにより封鎖され、人と物資の出入りが極度に制限されるパレスチナ・ガザ地区。人口の8割が支援に頼って暮らし、食料支援でカロリーは取れても鉄分やビタミンなどの栄養素が取れず、栄養失調が問題です。特に子どもは5歳以下の4割が貧血とされる中、JVCは特に状況が厳しい中部で支援を行いました。女性ボランティア30人を子どもの健康・発達アドバイザーへと育て、彼女たちが地域の各家庭を回って妊産婦1,360人のカウンセリングを実施。1,500人の子どもの検診も行い、栄養失調の子を見つけて病院へ紹介することができました。皆さまのご支援が血液検査チップや通院費になって子どもたちを支え、問題があった1,124件の79%が改善しています。



子どもの発達チェックをする女性ボランティア。



子どもの発達チェックをする保健師。



子どもの検診を行う女性ボランティア。地域の子どもと触れ合う女性ボランティア。

皆さまのご支援もあり、無事に同事業地の2年目に取りかかるところです。情勢は不安定ではありますが、その中でも現地の女性たちは、自分たちで地域を支えて守るために頑張っています。私たちとしても、そこに寄り添っていきたいと思います。引き続き、よろしくお祈りします。

団体名：
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター
住所：
東京都台東区上野5-3-4
クリエイティブOne秋葉原ビル6F
創立：1980年2月27日
TEL: 03-3834-2388

■団体概要

- ★すべての人々が自然と共存し、共に生きられる社会を築く
- 1.世界の様々な場所で国際協力活動を通して、社会的に強い困難な状況を自ら改善しようとする人々を支援する
- 2.地球環境の保全を図る活動ならびに、社会教育活動を通して、新しい生き方と人間関係を創りだす為の支援活動



児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが健全に自立できるよう支援するため、2017年度も高校3年生に対し「巣立ちプロジェクト」を開催しました。自立に必要な知識の習得と仲間づくりを目的とした内容で調理実習や面接の仕方などを学ぶ全6回のセミナーです。その他、1日就労体験「ジョブプラクティス」では、仕事を知り、将来の就労イメージをつかみ、現時点での自分を確認する機会を設けています。今回3回目の就労体験をした高校生は「もっと、積極的に情報を集めて、丁寧な就職活動となるようにしていきたい」とのこと。アドバイシステムズやザ・リッツ・カールトン東京、ニューヨーカーなど、さまざまな企業の実際のオフィスで仕事を体験でき、大変貴重な時間が持てました。その他、シュウウエムラでは、将来の職業としてプロを目指し、東京モード学園に進学する子どもたちへ、専門学校費や生活費を全額奨学金として応援するプログラムを、ブリッジフォースマイルと共同で行うことが決定いたしました。

児童養護施設から進学を目指す子どもたちが夢を語るスピーチコンテスト「カナエール」が今年で最後になりました。カナエールが始まった7年前は異なり、現在では返済不要の奨学金が行政を中心に増えはじめ、進学という選択肢は施設の子どものたちにとって選びやすくなってきたためです。

その他子どもたちを育てる人材が、子どもたちにより良い支援を行えるよう、ボランティアの募集、および育成としてニコニコカフェなどを定期的に開催するほか「巣立ちプロジェクト」を一緒に作りあげていく社会人ボランティアの募集を行いました。

巣立ちプロジェクト2017～第5回
「しっかりさんのお財布事情」



巣立ちプロジェクト2017～第3回「しっかりさんの健康づくり」



巣立ちプロジェクト2017～第1回「面接とコミュニケーション」



昨年に引き続きご支援いただきありがとうございました。昨年、もっと枚数があればよりうれしいという声があったため、今年はインナーとソックスを各5枚ずつ1セットにして、申し込みのあった希望者に発送しました。恐らく、進学した児童は入学式で、就労した児童は入社式やその後の勤務先で着用していると思います。下着は必要不可欠な物なので、ご支援いただけなかったとしても自身で購入したとは思いますが、今回下着をご寄付いただいた事で、学生であれば購入費用を教科書代などに充てられたり、アルバイトする時間を減らし、勉強に充てる時間を増やすことができたと思います。また就労した児童であれば、毎日出勤のために着用するたびに、皆さまから応援されていることを思い出し、ポジティブな気持ちで出勤できるようになったりしたのではないかと思います。あらためて、頂戴した児童に代わりまして御礼申し上げます。



団体名：
特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル
住 所：
東京都千代田区大手町2-6-2
創 立：2004年12月5日
T E L：03-6842-6766

■活動概要

- ★児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちの自立支援
- 1. 子供たちが安心して社会に巣立ち、夢と希望を持って笑顔で暮らせる環境を作る
- 2. 退所後自立して生活するための知識と必需品や住居を支援する
- 3. 退所後の働くイメージと経験を与える

民間主導緊急災害対応アライアンス「SEMA」に加盟



★日本初の民間主導緊急災害対応アライアンス「SEMA」

9月1日の防災の日を前に、グンゼ、ヤフー、キリン、ファミリーマートなど民間企業17社とNPO6団体は8月31日、国内で大規模な自然災害が発生した時に連携して物資やサービスなどの支援をワンストップで提供する緊急災害対応アライアンス「SEMA(シーマ)」(※)を設立しました。企業やNPOの垣根を越えた組織で、自然災害が日本社会や被災者に与えるインパクトを最小限に食い止め早期復興に向けた支援を行います。平時から加盟企業・団体が持つ物資・サービスなどをリストとして集約し、災害発生時にはリストをもとに各社が行う支援を迅速に被災地に届けます。また、公共機関との連携を図り、支援の漏れや無駄を減らし、被災自治体の負担を軽減することを目指します。

※SEMA: Social Emergency Management Allianceの略



ヤフー本社での設立記者発表会



民間企業17社 あいさつをするCC部・小倉部長

グンゼは、子どもから高齢者までの肌着やソックス、エコノミー症候群を予防する弾性ストッキングなどを、災害発生時に提供しており、今後もSEMAへの積極的な働きかけを含め、引き続き災害支援活動に注力します。



弾性ストッキング【LEG SCIENCE®】

一人でも多くの被災者を救うため、緊急災害対応アライアンス「SEMA」は発足後も、随時賛同いただける企業の募集を行っています。

加盟民間企業 (2017.09.01現在)	主な担当業務
<ul style="list-style-type: none"> ●アスクル株式会社 ●FSX株式会社 ●オイシックスドット大地株式会社 ●キリン株式会社 ●グンゼ株式会社 ●サラヤ株式会社 ●株式会社JGマーケティング ●ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ ●スターフェスティバル株式会社 ●株式会社スノーピーク ●西濃運輸株式会社 ●株式会社西武プロパティーズ ●ソフトバンク株式会社 ●株式会社ハート引越センター ●株式会社ファミリーマート ●三井化学株式会社 ●ヤフー株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ●…食料、飲料水など ●…衛生関連用品など ●…避難時の生活用品 ●…物流拠点を提供 ●…災害支援活動の資金調達 ●…情報発信や、事務局機能と災害対策本部拠点 ●…災害復興を担う団体にモバイル機器やWiFiファイラーターを無償貸出
加盟非営利組織 (2017.09.01現在)	<p>東日本大震災の現地支援活動で実績があるこれら加盟非営利組織団体は、被災現地の情報収集を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン 特定非営利活動法人ADRA Japan 特定非営利活動法人災害人道医療支援会 公益社団法人Civic Force 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 被災地NGO協働センター



「SEMA」の概要図





大阪府と包括連携協定を締結



9月20日、大阪府庁においてGunzeと大阪府は行政とともに社会的課題解決に取り組むために、6分野にわたる連携と協働に関する包括連携協定を締結しました。

Gunzeはこの協定に基づき10月1日に「乳がん検診キャンペーン」を行ったほか、3月には「森づくり活動」を行うなど、事業を通じた地域の活性化に努めています。

「2025年国際博覧会の誘致活動」など、今後もさまざまな活動を行いますので、ご協力をお願いします。



包括連携協定とは？

今後ますます人口減少や高齢化が見込まれる中、行政だけですべての社会的課題の解決を図ることは難しくなっています。そこで大阪府では企業のCSRやCSV活動との協働・コラボレーションにより、社会課題の解決を図る公民連携の新たなしくみづくりを推進しています。

キーワードは「対話」と「WIN-WINの関係で課題解決を図る」こと。この趣旨に賛同し、府政全般にわたって連携いただける企業・大学と「包括連携協定」を締結しており、平成30年5月末時点で32件の協定を結んでいます。

Gunzeが担う6つの役割

Gunzeの事業を通して新たにできごと、事業部ごとで既に活動をしていることなど、6分野にわたり協働活動を行います。今後、Gunzeは上記協力を通し、大阪府における地域の一層の活性化に取り組んでいきます。

分野	活動内容
健康・医療	・Gunze直営店舗における「がんに関する啓発キャンペーン」の実施
	・商品とタイアップしたがん啓発運動への協力
	・大阪国際がんセンターとの連携
	・大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォームにおける取組みの推進
スポーツ振興	・市町村と連携したスポーツ活動の促進
地域活性化	・2025年国際博覧会の誘致に向けた機運醸成
子供	・市町村教育委員会が主催する「放課後子ども教室」への協力
環境	・緑化事業への協力
防災	・被災時の物品支援に関する協力
	・大阪880万人訓練への協力



文化・スポーツ振興プロジェクト

グンゼは新しい切り口での企業メセナ活動として文化・スポーツ振興支援を積極的に行うことを決定しました。「グンゼ文化・スポーツ振興プロジェクト」を推進し、世間で関心が高まる分野に対し、長期的なスタンスでの支援を目的とした取り組みにより、顧客満足と企業価値向上を目指していきます。

★女子アルペンスキーヤー 安藤 麻(あんどう あさ)選手の競技生活を支援

平昌オリンピック代表アルペンスキー選手の安藤麻さんは現在、東洋大学・法学部企業法学科に通う4年生です。

中学生の時に世界ジュニア選手権日本代表に、高校ではワールドカップ日本代表としてさまざまな大会で好成績を残しています。

今年は5月にはオーストラリア遠征、6月フランス遠征、8～9月はヨーロッパ遠征そして10月から翌3月中旬までの6ヵ月間はワールドカップで各国を転戦する予定です。しかしその遠征費用のほぼすべてを自前で準備しなければならない厳しい環境です。「グンゼ文化・スポーツ振興プロジェクト」の基金が安藤さんの躍進に役立ち、さらに活躍されることを願っています。



3月22日、ハービス大阪本社に安藤さんが、2017年12月からスタートした「グンゼ文化・スポーツ振興プロジェクト」第一号として調印するため来社されました。



安藤さんの持ち物には「GUNZE」ステッカーが貼られています。

★劇団四季「こころの劇場」京都府公演をサポート

2018年4月、新たな取り組みとして劇団四季「こころの劇場」京都府公演をサポートすることが決定しました。

「こころの劇場」は子供たちの心に、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて語りかけることを目的に2008年からスタートしました。10年間にわたり毎年子供たちを無料で招待し、今や日本全国の半数以上の子供たちが「こころの劇場」を体験するという、社会が総がかりで取り組むプロジェクトです。

グンゼは子供たちの情操教育と地域社会貢献にもつながるこのプロジェクトの趣旨に共感し「文化・スポーツ振興プロジェクト」から、京都府公演をサポートすることになりました。



グンゼが支援する京都府公演について

2018年度の劇団四季のミュージカル演目は、『魔法をすてたマジョリン』と『王様の耳はロバの耳』です。初めて見る子供でも楽しめる内容です。

来年1月には綾部での公演を予定しており、900名を招待いたします。

◆京都府公演概要

会 期：2018年9月～2019年1月
 会 場：京都市・綾部市・精華町・長岡京市
 演 目：『魔法をすてたマジョリン』または『王様の耳はロバの耳』
 公演回数：12回
 招待児童：約14,500名



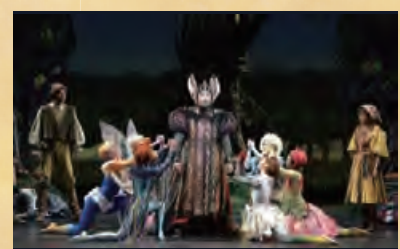
『魔法をすてたマジョリン』 撮影：荒井健



『魔法をすてたマジョリン』 撮影：阿部章仁



『王様の耳はロバの耳』 撮影：阿部章仁



『王様の耳はロバの耳』 撮影：山之上雅信

その他CSR活動

ピンクリボン運動

★だから行こう 乳がん検診

10月1日、なんばウォークフォレストパークで乳がん検診を促進するピンクリボンイベント「だから行こう 乳がん検診」を実施しました。4カ所に設置した乳がん触診ミニモデルとインフォメーションに設置した大型触診モデルには多くの方々に乳がんのしこりの感触を体験していただきました。

配布チラシで10月15日にマンモグラフィー検査の受診可能な病院の紹介、SNS顔出しパネルの記念撮影で情報拡散などを行いました。



★(株)グンゼオフィスサービス主催「がん展」年13回開催



2017年度は4月17日に行われた綾部本社他、10事業所・13回に分けてグンゼオフィスサービスによる乳がんセミナー「がん展」を開催しました。約700人以上もの社員が関心を持って見学しました。



★がん検診セミナーをサポート



1月21日、オーバルホールで開催されたがん検診セミナーで、450名が参加し大阪国際がんセンターの医師や元売売テレビアナウンサー清水健さんによる講演などが行われました。がん検診の受診率アップを目指して募集されたキャッチフレーズに「元気でも、もしものためです。がん検診」が選ばれ、グンゼから副賞としてオンラインストアのクーポン券をプレゼントしたほか、会場ではメディキュア商品の紹介を行いました。

里山保全活動

★京都モデルフォレスト運動

社団法人京都モデルフォレスト協会と「森林の利用保全に関する協定」を締結し、創業の地・綾部の市内2カ所で竹の伐採や遊歩道の整備など、里山保全のボランティア活動を行っています。2017年は雨天中止のため年2回の実施になりましたが、総計54名の方に参加いただきました。今後も多くの方のご参加をお待ちしています。

京都モデルフォレスト運動 in 綾部

日程	回数	開催地区	参加人数	活動内容	その他イベント
4/20	第25回	鍛冶屋地区	29名	竹の伐採など	竹細工・流しそうめん
10/1	第26回	小畑地区	25名	遊歩道の階段整備など	森の恵み感謝祭
雨天中止	第27回	小畑地区	--名	遊歩道の階段整備など	ピザづくり



第28回 モデルフォレスト活動 with 森の恵み感謝祭



災害支援

★九州北部豪雨災害(肌着支援・義援金の寄付)

2017年7月以降、九州北部地方で発生した大雨災害により被災された皆さまに、公益社団法人 Civic Force (シビックフォース) を通じ福岡県などに約3,300枚の肌着を支援しました。

また、グンゼグループ従業員からの522,053円の義援金に会社からの同額のマッチングギフトを加え、日本赤十字社を通じて総額1,044,106円を寄付しました。

2017年九州北部豪雨災害 支援状況

アイテム	数量	届け日	届け先
肌着(紳士・婦人・子供)	約600枚	7/7	福岡県朝倉市内の避難所(フレアス甘木、市立杷木中学校)
肌着(紳士・婦人・子供)	約1,200枚	7/8	福岡県朝倉市内の避難所(市立久喜宮小学校、県立朝倉光陽高等学校)
肌着(紳士・婦人・子供)	約1,500枚	7/14	福岡県朝倉市内の避難所(市立杷木中学校)
			福岡県朝倉郡東峰村の避難所



発災直後から着の身着のまま避難所にたどりつき3日以上着替えていない人が多くいたため、グンゼの肌着が入った複数のダンボールを開けた瞬間、避難者の方々から歓声があがったそうです。避難所を運営する市役所の担当者は「着替えの支援物資は初めて。依頼した翌日に希望した物資が届き、その早さに驚いた」と話していました。



福島復興支援

★福島ひまわり里親プロジェクト

「福島ひまわり里親プロジェクト」は、2011年3月に発生した東日本大震災後、「福島県に震災復興のシンボルとしてひまわりを植えよう」と始まった活動で、福島の復興支援につながっています。

当社はこのプロジェクトの趣旨に賛同し、2012年から毎年、里親(全国の事業所)のもとで育てたひまわりの種を福島に届けています。

2017年度の福島ひまわり里親プロジェクトは29事業所に参加してもらい、120袋6,000粒の種を配布、15事業所から種の収穫報告を受けました。たくさんの種を育てていただき、ありがとうございました。また、台風など天候不順で収穫できなかった皆さまも本当にありがとうございました。11月7日、直送いただいたものも含めすべての種を福島ひまわり里親プロジェクトへ報告しました。

総重量22.08kgで、歴代最高の収穫になりました。



2018年度は25事業所の参加申込みがあり、75袋(7,500粒)の種を注文しました。

その他CSR活動

放課後子ども教室

★肌着教室

大阪府教育委員会が実施する「放課後子ども教室」に賛同し、2016年度より「肌着教室」の出前授業をスタートしました。グンゼでは「肌着を着よう!～汗の役割と肌着の効果～」と題し、子どもたちに肌着の大切さを伝えています。

2017年度は先生の数も7名に増加。関西の小学校9校で約300名の子どもたちに授業を実施しました。

2017年度 実施小学校

実施日	開催場所	参加人数
7/27	泉佐野市立長坂小学校 児童クラブ(1～6年)	13名
7/27	泉佐野市立佐野台小学校 児童クラブ(1～6年)	16名
7/28	福知山市立成仁小学校 児童クラブ(1～6年)	60名
8/8	泉佐野市立末広小学校 児童クラブ(1～6年)	22名
8/8	泉佐野市立大木小学校 児童クラブ(1～6年)	14名
10/17	和泉市立北松尾小学校 児童クラブ(1～6年)	39名
12/6	門真市立北巢本小学校 まなび舎Kids(3～6年)	27名
1/16	池田市立五月丘小学校 PTA(保護者)	20名
2/7	尼崎市立園田南小学校 6年生(3クラス)	98名

「肌着教室」では近畿地区の小学生やPTAの方々を対象に学校に出向き、「肌着の役割と汗の働き」を伝えています。クラス単位での授業のほか、放課後教室にも対応しています。お子様が通われている学校に、グンゼの活動をお声掛けいただきますようお願いいたします。



もったいない活動

★ATG活動の一環

ゴミ箱に捨ててしまえば単なるゴミとして処理されるものを、集めているモノ(ペットボトルのキャップ・アルミ缶・切手・古本など)を業者に買い取ってもらうなどしてお金に換えることで、支援に役立ててもらいます。

種別	寄付団体	実績(昨対比%)	支援内容
エコキャップ	NPO法人 Reライフスタイル	578,779個 (238)	ワクチン購入など
プルタブ・アルミ缶	環公害防止連絡協議会 兵庫工場	78.3g (75)	車椅子寄贈
使用済み切手	認定特定非営利活動法人	12,918g (450)	植林のための苗木購入資金
古本	JEN東京本部事務局	4,540円 (105)	教育支援事業

昨年度に比べかなり実績は上がりましたが、まだまだ参加活動事業所数が少ないのが現状です。今年度はより多くの事業所が参加しやすいよう、今まで指定していた支援団体への送付を見直し、事業所が独自に選べるように変更しました。

その他活動

★加古川警察署より感謝状を受領

兵庫グンゼは夜間の交通事故防止に役立ててもらうことを目的として、蓄光素材を使用した当社の靴下500足を稲美、播磨両町に安価で提供しました。この取組みに対し加古川警察署より感謝状をいただきました。

★「Well-Being OSAKA Lab」～働き方改革&健康経営～キックオフイベントに参加

大阪府・企業・大学と連携し、働き方改革や健康経営等に関する課題・情報を共有し公民が連携して健康に関する様々な課題解決を図るために発足した「Well-Being OSAKA Lab」プロジェクトに参画しました。

★工場見学・職場体験学習の受け入れ

グンゼの工場や物流センター、グンゼスポーツ(株)で、地元の小中学校や高校から工場見学や職場体験実習生の受け入れを行っています。また、大阪本社・東京支社においても高校生への訪問学習に協力しました。

その他CSR活動

事業部のCSR活動



★綾部エンブラ



★綾部エンブラ



★綾部本社



★梁瀬工場



★綾部本社



★東北グンゼ



★東北グンゼ



★滋賀研究所



★グンゼ高分子伊勢原



★綾部エンブラ



★浅草橋野島ビル



★船場事業所



★岡山事業場



★梁瀬工場



★山梨物流センター



★メディカル綾部



★つかしん



★京都物流センター/綾部本社



★綾部エンブラ



★船場事業所



★山梨物流センター

その他CSR活動

事業部のCSR活動



★守山工場



★東海営業部



★江南物流センター



★東北グンゼ



★前橋リリカ



★エルミ鴻巣



★京都研究所



★西宮物流センター



★兵庫グンゼ



★グンゼスポーツ



★亀岡工場



★滋賀研究所



★宇都宮物流センター



★西宮物流センター



★グンゼ包装システム守山



★宇都宮物流センター



★梁瀬工場



★東北営業部宇都宮



★宇都宮物流



★綾部本社



★東北営業部

